

まちづくり交付金 事後評価シート

(添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業	事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
			事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	駅北線	528	520m	566.69	520m	事業費精査による	影響なし	●		
		44	170m	74.7	170m	関連事業との整合性を図るため、交差点部の改良の追加	指標3に影響があるが、数値目標は据え置く	●		
		71	224m	77.039	224m	事業費精査による	影響なし	●		
		9	75m	9.069	75m	事業費精査による	影響なし	●		
		40	46m	0		関連事業へ移行のため削除	影響なし	-	-	
公園	駅北公園	55	0.12ha	38.964	0.11ha	事業費精査による	影響なし	●		
河川										
下水道										
駐車場有効利用システム										
地域生活基盤施設	駅北交通広場	82	0.20ha	83.684	0.18ha	事業費精査による	影響なし	●		
		19	0.15ha	32.669	0.23ha	事業費精査による	影響なし	●		
		10	地上、0.01ha、50台	2.35	地上、0.01ha、50台	事業費精査による	影響なし	●		
高質空間形成施設	緑化施設等	18	バス停1箇所 タクシー乗場1箇所 時計塔1基	13.3	シェルター4箇所	利便性向上のため、バス停、タクシー乗場を追加	指標2に影響があるが、数値目標は据え置く	●		
		812	60m EV 2箇所 ESCA 2箇所	1,119.28	78m EV 2箇所 ESCA 2箇所	自由通路を浜田医療センターと接続するため、延長の増	指標1、2に影響があるが、数値目標は据え置く	●		
既存建築物活用事業										
都市再生交通拠点整備事業										
土地区画整理事業(都市再生)										
住宅市街地総合整備事業										

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業		当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
事業	事業箇所名	事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1 事業費の大規模変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成員込み
地域創造 支援事業	駅舎整備	340	2階建 延床面積 330㎡	187.18	2階建 延床面積 330㎡	事業費精査による	影響なし	●	
	排水路	12	126m	10.675	118m	事業費精査による	影響なし	●	
事業活用調査	事業効果分析	0		0.401		目標、指標の達成状況の検証等を行うため	影響なし	●	
まちづくり 活動推進事業									

※1：事業費の大幅変更、動向通知がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画			
浜田医療センター移転新築整備事業		浜田駅北側	9,000	9,000	H17～H20	H17～H20	既に完成し、中核病院として機能している。		
駐車場整備事業		浜田駅北側	60	60	H19～H19	H19～H19	既に完成し、周辺施設利用者の利便性の向上が図られている。		
あんしん歩行エリア形成事業		浜田駅北側	62	62	H16～H19	H16～H19	既に完成し、安全対策に貢献している。		
浜井自転車歩行者道整備事業		浜田駅南側	-	600	-	H19～H22	事業中である。 早期完成を期待されている。	当初、並幹事業であった浜田180号線の整備を含む。	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
			基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし		
指標1	医療センター移転地から駅までの移動時間	分	—	—	14	H17	3	H21	モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定見込み ●	2	事後評価	○	
指標2	駅南北の一体化度	人/日	—	—	702	H17	1,500	H21	モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定見込み ●	2,106	事後評価	○	
指標3	交通事故件数	件	—	—	14	H16	10	H21	モニタリング		モニタリング		●	
									事後評価	確定見込み ●	11	事後評価	△	
指標4									モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定見込み ●		事後評価		
指標5									モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定見込み ●		事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	駅から医療センターまで直結した自由通路が整備されたことにより、移動時間が大幅に短縮され、目標が達成できた。	
指標2	バリアフリーに対応した自由通路が多くの住民に活用され、南北間の交流が活発化し、目標が達成できた。	
指標3	自由通路整備、歩道の新設・段差の解消等により目標達成に近づいている。現在工事中である歩道付き道路が整備されることにより、目標達成見込みがある。	計画年度によりバラつきがある。
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○：評価値が目標値を上回った場合

△：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×：評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

市民ボランティア団体から、公園内にアダプトによる「ふれあい庭園」の贈呈を受け、当該地区の大目標である魅力と賑わいの創出に大きく貢献していただいた。この庭園の管理も市民参加型アダプトで管理されることになっている。

自由通商を浜田医療センター2階へ繋げたこと、エレベーター・エスカレーターの設置等により、住民、通行人の「便利になった。素敵になった。」との声をよく耳にする。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
新市の重点プロジェクト事業であり、所管課を設置し、事業推進を図る。	予定どおり実施した	平成16年12月に駅北開発推進室、平成17年10月に駅北開発課となり、平成19年度末まで担当課として事業推進に取り組んできた。平成20年度以降は建設企画課駅北開発係に所管換えとなったが、問題なく事業推進が図られた。	今後も組織体制を充実し、事業推進を図る。
	予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		
交付期間中は行政評価システムを活用し、事業成果や事業の進め方等についての外部評価を行う。	予定どおり実施した	平成18年度、平成19年度において、行政評価システムを活用した外部評価を行った結果、何れもA判定であった。	今後も行政評価システムを有効活用し、事業の検証を行い、効果的な事業推進を図る。
	予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
浜田市中心市街地活性化推進検討委員会	予定どおり実施した	● 実施日：平成18年2月16日、平成19年2月16日(年1回) 参加者数：15名 実施結果：南北自動車動線の検討、降雨による浸水対策について意見があった。浸水対策については考慮している旨を説明した。南北自動車動線の検討については、物理的に困難な課題が多く、今回の事業では対応できない旨を説明し、理解を得た。	今後も引き続き、住民と一緒に中心市街地の活性化について、検討を進めていく。
	予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		
浜田駅南北自由通路及び駅舎整備検討会	予定どおり実施した	● 実施日：平成17年7月25日、平成17年8月23日、平成18年1月24日、平成18年5月17日(計4回開催) 参加者数：10名 実施結果：特産品の使用、デザイン、エスカレーターの設置、自由通路の浜田医療センターへの接続等、様々な意見、要望が出された。それを受けて計画に反映した。	今後も機会があれば、今回の検討会の経験に基づき住民参加の機会を設ける。
	予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
市民ボランティア団体から、公園内にアダプトによる「ふれあい庭園」の贈呈を受け、当該地区の大目標である魅力と賑わいの創出に大きく貢献していただき、管理も市民参加型アダプトで行われている。	予定どおり実施した	● 「ふれあい庭園」贈呈の申入れがあり、受入を前提に協議を重ねた結果、目標に合った整備、管理が行われた。	浜田ライオンズクラブ、地域社会の生活・文化・福祉及び公徳心の向上に積極的に関わり、国際的・民主的社会的発展を目指す奉仕団体。	今後も市民参加型アダプトで管理される予定である。市職員の積極的な参加を促し、持続するよう努める。
	予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織による検討会議	関係各課の課長及び係長級職員(建設企画課、建設整備課、建築住宅課、観光振興課、産業政策課、管財課、地域医療対策課、財政課)	平成21年11月2日	建設企画課(まちづくり交付金担当課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1		指標2		指標3	
指標名		医療センター移転地から駅までの移動時間		駅南北の一体化		交通事故件数	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路 駅北線	○	浜田駅を中心とした当該地区の利便性を活かした事業である。自由通路を浜田医療センター2階へ繋げたことで、エレベーター・エスカレーター等の設置等により、住民、通行者の「便利になった。素敵になった。」との声をよく耳にする。障害者、高齢者は勿論、すべての人が使いやすい施設となり、効果は大きい。また、列車、バス等の公共交通機関の利用促進にも大きく寄与する。	○	浜田駅北側の低未利用地を活用した浜田医療センターの移転新築に併せた自由通路、駅舎等の整備による浜田駅南北の一体化が図られた。来院者が自由通路を通過して両側商店街で買物をすることも可能となり、商店街、中心市街地の活性化に大きく寄与するものであり、効果は大きい。	○	道路、自由通路等の整備によるバリアフリー化、歩道の新設及び拡幅、交差点改良等による安全対策への効果は大きい。
	道路 浜田停車場港町線	○					
	道路 浜田183号線	○					
	道路 浜田184号線	○					
	道路 浜田180号線(関連事業へ移行)	○					
	公園 駅北公園	○					
	地域生活基盤施設 駅北交通広場	○					
	地域生活基盤施設 駅南交通広場	○					
	地域生活基盤施設 駅北駐輪場	○					
	高質空間形成施設 緑化施設等	○					
高次都市施設 自由通路	◎						
提案事業	地域創造支援事業 浜田駅舎 JR浜田駅	○					
	地域創造支援事業 排水路 浜田駅北側	○					
	事業活用調査 事業効果分析	○					
		○					
関連事業	浜田医療センター移転新築整備事業	◎					
	駐車場整備事業	○					
	あんしん歩行エリア形成事業	○					
	送井自転車歩行者道整備事業(浜田180号線を含む)	○					

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することと期待したが、指標の改善に貢献しなかった。

一：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	自由通路等の整備は、浜田医療センターへのアクセス向上だけでなく、周辺の土地利用転換が図られつつあり、利用促進が期待できる。	周辺住民、商店街等の期待が大きく、まちづくりの気運が高まっている。イベント等の開催に協力し、更なる相乗効果を図る。	公安委員会等と協議を行い、更なる事故件数の減少を図る。
-------	---	---	-----------------------------

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織による検討会議	関係各課の係長級職員 財政課、建設整備課、建築住宅課、観光振興課、産業政策課、管財課、地域医療対策課、建設企画課	平成21年11月2日	建設企画課(まちづくり交付金担当課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
駅周辺でありながら集客施設が不足しているため、空間的・機能的な柔力が失われつつあり、魅力的なシンボルエリアとして特徴づけができていない。	浜田医療センターの移転新築、南北自由通路整備に伴う浜田駅舎の改築、自由通路と浜田医療センターの接続等により、魅力的な賑わいのあるシンボルエリアとなった。 駅舎内市民サロンには観光案内や特産品販売の機能が充実し、市民だけでなく観光客にとっても魅力ある施設となった。		浜田医療センターへ車で来院する方が多く、交通量の増への安全対策。 公共交通結節点である駅から点在する観光地等への二次交通網の整備。
駅北側は大規模低未利用地が残されたままとなり、市街地整備が遅れている。	大規模低未利用地を活用した浜田医療センターの移転新築に併せた、周辺の道路、公園等の公共整備により、市街地整備が図られた。		
JR山陰線より駅南北の市街地が分断されているうえ、横断できる箇所が少なく一体感がなく、利便性が悪い。駅の利用は南側のみで、北側の利便性が悪い。	自由通路の整備により、浜田駅南北を自由に行き来できるようになり、一体化が図られた。また、自由通路整備に伴う浜田駅橋上化により、南北からの利用が可能となり、利便性の向上が図られた。		
子供やお年寄りなどに対して利便性や安全性が低く、バリアフリー化が遅れている。	道路整備による歩道の設置や段差の解消、また、自由通路にエレベーター、エスカレーターを設置し、バリアフリー化を図ったことにより、安全性、利便性が向上した。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるために 行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	エレベーター及びエスカレーターの管理	エレベーター、エスカレーターの利用による事故が発生しないよう、管理を徹底して行う。	エレベーター、エスカレーターの維持管理
	防犯対策	南北一体化のために整備した自由通路内で、犯罪が発生しないよう、パトロールを定期的実施する。	防犯カメラの維持管理
	観光情報発信機能の充実	市民サロンで取り扱う特産品の更なる充実を目指す。	こだわりの特産品販売

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	交通量増に対する安全対策	浜田医療センターへ車で訪れる来院者が少ない。公安委員会等と協議し、安全対策を図る。	横断歩道の新設、速度制限の徹底、パトロールの強化、ボランティアによる歩行誘導等。
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	浜田駅から点在する観光地等への二次交通網の整備	目的地までのわかりやすい誘導を行うとともに、バスやタクシーの効率的な活用方法を検討する。

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
-	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

- ・医療センターが自由通路により繋がったことから、一層市民に親しまれる病院になることが望まれる。そのことにより、駅周辺の街づくりが活発になる。
- ・医療センター2階の会議室や看護学校の体育館、エントランス付近の有効活用
- ・南北の商店街の連携及び南北の人の流れを促進するための自由通路活用策として、イベント、フリーマーケット等の開催について、商業サイドと調整。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	医療センター移転地から駅までの移動時間	分	14	H17	3	H21	確定 見込み	● ●	2 ○	あり なし	→			
指標2	駅南北の一体化度	人/日	702	H17	1,500	H21	確定 見込み	● ●	2,106 ○	あり なし	→			
指標3	交通事故件数	件	14	H16	10	H21	確定 見込み	● ●	11 △	あり なし	→	平成23年5月	浜田警察署に outgoing 平成22年度データを調査する。	
指標4				H		H	確定 見込み			あり なし	→			
指標5				H		H	確定 見込み			あり なし	→			
その他の数値指標1				H			確定 見込み				→			
その他の数値指標2				H			確定 見込み				→			
その他の数値指標3				H			確定 見込み				→			

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		事業完了年度は工事完成後の翌年度に設定することが事後評価を円滑に進めることができる。
	うまくいかなかった点	工事完了年度と事業完了年度を同年度に設定したことから、数値目標が工事完了しないと達成できない状況となり、苦慮した。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		不確定要素が見込まれるような数値は目標とすべきでない。
	うまくいかなかった点	交通事故件数の削減目標について、事業により交通量が増加することを考慮すると数値目標として適当でなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	市民団体の代表等からなる検討会等を設けて、住民の意見・要望を受け、できるだけ計画に取り入れ、また、できないことを説明・報告して実施した結果、住民の理解も得られ、満足感の高い事業となった。	住民参加はまちづくり事業を円滑に進める上で有効である。
	うまくいかなかった点	事業期間を1年延期して事後評価を行えば、より良い公表体制を組むことができたとは思われるが、組織的、時間的課題もあり、浜田市ホームページの活用のみによる公表となった。	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

なし

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	浜田市ホームページに掲載	平成21年11月27日から 平成21年12月10日まで	平成21年11月27日から 平成21年12月10日まで	郵便、Eメール、FAX	建設部 建設企画課
広報掲載・回覧・個別配布	-	-	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	-	-	-		

住民の意見	意見なし。
-------	-------

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	島根県立大学 教授 藤原真砂	平成21年12月21日	建設部 建設企画課	浜田駅周辺地区 まちづくり交付金評価委員 会設置要綱	独自に設置
その他の委員	浜田商工会議所 会頭 岩谷百合雄 浜田地域婦人会 会長 長松美千子				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書と比較してスケジュール的に若干の遅れはあったが、事後評価は適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	指標1、2については問題はない。ただ指標2については、病院関係者とその他を分けた調査を実施することにより、人の流れがよくなるなどの意見があり、今後調査方法を検討することで理解を得た。 指標3については交通量が増加したにも関わらず、減少傾向であり、初期の目標は達成しているとの意見であった。
	実施過程の評価	浜田市中心市街地活性化推進検討委員会、浜田駅南北自由通路及び駅舎整備検討会の意見をモニタリング方式により、積極的に取り入れた事業であり、十分評価できるとの意見であった。
	効果発現要因の整理	浜田駅舎と浜田医療センターを自由通路で連絡したことは、モデルになる画期的、効果的事業となった。事業間相互の相乗効果により活性化が図られ、商業への波及が拡大されることを望むとの意見があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	事業期間を1年延期して事後評価を行えば、より良い公表体制を組むことができたと思われるが、組織的、時間的課題もあり、浜田市ホームページの活用のみによる公表も止むを得ないとの意見であった。
	その他	特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは妥当であると認められた。また、熱心な討論が重ねられ、十分に意見が出されていることが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	南北の人の流れを促進するため、自由通路の活用策として、自由通路でのイベント開催、フリーマーケット等の社会実験を検討する必要があるとの意見があった。 今後、商業サイドと調整、検討することで理解を得た。
	フォローアップ	交通量増に対する安全対策を十分に行うこととの意見があった。 公安委員会と協議を行い、駅北地区に横断歩道等の設置、安全対策を図ることで理解を得た。
	その他	特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。 商業の活性化を図るため、自由通路の有効活用について、南北商店街と一緒に検討する必要があるとの意見があった。
その他	特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。